

「くらしの便利帳」ができました



官民協働事業として取り組み、協働事業者が集める広告収入で作成した道内初の「くらしの便利帳」。各種手続き方法や地域情報など、市民生活に役立つ情報が詰まった一冊。7月中に全世帯に配布が完了しています。まだ届いていない場合は、市民対話課(☎2193)まで連絡を。(6月30日)

まなびや 思い出の学舎で学院祭



室蘭看護専門学院で「室看祭」が開かれ、学生たちが来場者と交流しながら行う健康チェックが好評を博した。来年は、今年3月に閉校した文化女子大学室蘭短期大学の校舎へ移転するため、同校舎で行われるのは最後となる。(7月4日)

先人の精神を暮らしに生かす



市内で確認されている35カ所の遺跡から、縄文の遺構や遺物が多く見つかっている。この地で暮らしていた縄文時代の人々の自然との共生や「もの」を大切にする精神を学び、現代の暮らしに生かそうと、市民有志が室蘭縄文文化研究会を発足。総会に約60人が出席し、規約などを確認した。今後、縄文文化を学ぶ勉強会などの開催を予定している。(6月28日)



鉄のまちを支える商店街



複合商業施設がらっと・てついちや遊歩道の整備など、商店街の活気をよみがえらせる取り組みが評価され、全国の「新・がんばる商店街77選」に選定された輪西商店街で、毎年恒例のイベント、ワニ祭りが行われた。地域の人が一丸となって開催した催しに、大勢の市民が訪れ、鉄のまちは熱く盛り上がった。

(7月3日・4日)

ちょっとだけ消防士

消防団総合訓練大会が新日鐵中島ラグビーグラウンドで開催された。地域を守る消防団が日ごろの訓練の成果を披露。子どもたちも防火衣をまとい、消防士気分を味わった。

(7月5日)

